

令和8年第6回（9月）宮若市議会定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	備考
1. 谷口 重隆	1. 吉川コミュニティセンター整備事業について	(1) これまでの経緯や取組を踏まえた今後の進め方について、市長の考えを伺う	
2. 舌間 正治	1. 本市に想定される地震災害と有事の対策について	(1) 指定避難所及び避難施設（シェルター）における整備状況及び運用体制の現状と今後の取組について伺う	
3. 藤春 優二	1. 学校跡地の利活用について	(1) 旧宮田東小学校跡地については、住宅団地としての利活用に向けた検討が進められているが、現在の具体的な進捗状況及び今後の事業化に向けたスケジュールについて伺う (2) 旧若宮小学校跡地の利活用について、従来の計画が見直される（白紙撤回）方針となった経緯と、今後の新たな活用案の検討体制及び見直しに関する具体的なスケジュールについて伺う	
	2. 防災時の生活用水について	(1) 大規模災害の発生に備え、飲用水のみならず、衛生環境維持に不可欠な生活用水（トイレ・洗濯・手洗い等）の確保は重要である。本市における生活用水確保に向けた現時点での指定井戸や耐震性貯水槽等の整備・協定状況及び災害時の供給体制の現状について伺う	
4. 竜口 浩一郎	1. スポーツ施設の充実（新たな総合体育館の整備等）による市民の健康維持・増進について	(1) 本市はスポーツ施設を市民の健康維持・増進にどのように位置づけているのか、また市民体育館や運動施設の利用状況、利用者ニーズをどのように把握しているのか伺う	
	2. 大規模地震等を想定した本市の避難所・避難場所の安全性と防災体制について	(1) 本市における避難所・避難場所の安全性、収容能力及び避難生活環境等について、現状と課題をどのように認識されているのか伺う	
5. 浅尾 加奈子	1. 宮若市まちづくり委員会の委員選考について	(1) まちづくり委員会の委員選考において、応募者が提出したレポートはどのような基準で評価され、また、選考の公平性及び透明性を確保するために、選考過程や選考結果の公表について伺う	
	2. 子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセ	(1) 宮若市における子育て支援施策の現状と課題を伺う (2) ファミリーサポートセンター事業導入の必要性を伺う	

	ンター) の導入について		
6. 神谷 芳之	1. 県道及び併設された歩道並びに市道の除草（主に通学路）について	(1) 現状の雑草が生い茂っている県道及び市道をどのように捉えているのか伺う。併せて除草作業の実態を伺う (2) 中学生の自転車通学では、車道ではなく歩道を利用している。その歩道で雑草が繁茂している箇所は通りにくいため、車道に回避している。通学時間帯は、通勤時間帯とも重なるため、交通量も多く危険な状態である。また、歩行者並びにシニアカーの通行にも支障を来している。この状況下で、市の対応策を伺う (3) 小・中学生の通学手段別の人数及び通学時の交通安全指導について伺う	
	2. 現在のスクールバスの運営状況と今後の見直しについて	(1) スクールバスは、宮若西小学校区における学校再編時に、通学が遠距離となる児童への通学手段として運行が始まり、規則に基づいた運営がされていることも理解している。しかし、以前より中学生にも利用できないかとの保護者の意見も根強くあり、状況に則し柔軟に見直しを図る時期でもあると考えるが市の見解を伺う	
7. 松岡 史倫	1. 第3次宮若市総合計画策定について	(1) 第2次宮若市総合計画後期基本計画の KPI : 196 個の振り返りの結果とそれを踏まえた課題を伺う (2) 第3次宮若市総合計画の策定に当たり、本市が今後直面する最も重要な課題をどのように認識しているのか伺う	
	2. 子育て世代に選ばれるまちづくりについて	(1) 第1期宮若市こども計画を踏まえ、本市が目指す子ども・子育て政策の将来像について伺う	
8. 遠藤 大祥	1. JR 宮田バス停（宮田交流スペース）及び JR 福丸バス停（福丸交流スペース）への空調設備整備について	(1) 近年、全国的に夏の暑さが厳しさを増しており、熱中症による健康被害が大きな社会問題となっている。特に高齢者や子供、障がいを抱える方は、暑さによる体への負担が大きく、十分な熱中症対策が必要だと考える。 そこで、JR 宮田バス停及び JR 福丸バス停においては、バス停としての機能だけでなく、交流スペースと位置付けられている点から、空調設備を整備する必要があると考えるが、市の見解を伺う	
9. 山元 秀一	1. 家庭用ごみ袋の無料配布について	(1) 家庭用ごみ袋の全戸無料配布は、先般の市長選挙における柴田市長の目玉公約として、選挙公報に掲載されていた。 本件については、6 月議会の柴田市長の施政方針にお	

		いて、実施に向け検討中との答弁だったが、本政策の意義及び市民に与える効果について伺う	
	2. 公共交通のより良いあり方について	(1) 本市の公共交通の一つである事前予約型の乗合バス、ふれタクは、徐々に利用者の増加がみられる。市民の多様な生活スタイルに合わせることが、その効果として認められる一方、運用が定着するにつれ様々な課題も散見される。 また、通勤通学といった定期定時の移動手段や本市への観光を目的とする人流に対する移動手段の提供も課題の一つと考える。 以上を踏まえ、以下の3つの観点から、本市の総合的な公共交通のあり方について伺う。 ①. ふれタクの利便性の向上として運行エリア・運行時間の拡大、利用者に応じた運賃設定 ②. スクールバスの柔軟な活用、利用対象者の拡大 ③. 域外、特に福岡・北九州両都市圏との移動手段の確保、新幹線宮若駅の実現	
10. 弓削田 敬	1. 市内の防犯灯、街路灯について	(1) 自治会解散した地区をどうするのか (2) 市内の夜間照明の今後をどう考えるか	
	2. 市内の廃車を取り扱う事業所について	(1) 事業所の許認可はどうなっているのか (2) 事業運営に伴う環境への影響について	